

令和元年度

事業報告書

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

# 「令和元年度事業報告」目次

## 概 況

〈事業活動〉

<b>1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）</b>	
（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	1
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	5
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	5
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	6
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	7
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	7
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	9
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	9
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	10
（10）その他の事業	15
<b>2 計量証明事業（収益事業1）</b>	
（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	17
（2）分析業務に関する講習会・研修会	17
<b>3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）</b>	
（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	17
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	18
（3）その他前各号に関連する事業	19
<b>4 管理部門</b>	
（1）法人運営（管理）に関する事業	19
（2）会員関係	22
（3）その他	23
<b>5 附属明細書</b>	24

## 令和元年度 事業の実施状況

令和元年の事業計画に基づき実施した事業は次のとおりである。

### 【公益目的事業 1】

#### 1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 506,319千円

1) 令和元年度は、稼働人員35名体制で、89,616基（年間計画数90,000基に対し99.6%）を実施した。（P.27～P.35）

区 分	30年度 検査状況	令和元年度 検査状況	増 減
検査員数	37名	35名	△2名
7条検査	2,686基 (25,001千円)	2,734基 (25,355千円)	48基 (354千円)
11条検査	85,583基 (473,655千円)	86,882基 (480,964千円)	1,299基 (7,309千円)
合 計	88,269基 (498,656千円)	89,616基 (506,319千円)	1,347基 (7,663千円)

また、検査手数料収入は、506,319千円で前年比7,663千円増となっている。

11条検査については、昨年度比で1,299基増（対目標値99.3%）と目標をほぼ達成した。しかしながら受検率については、全体の約4割が未受検となっているため、保守点検・清掃事業者と連携した特別認定管理士や一括契約協議会方式を活用し、受検率の向上と維持管理の適正化を図りたい。

#### 2) 法定検査の受検督促

法定検査の受検督促については、平成30年度の未受検者を対象とし、センターから受検指導を行った後に、各県民局長名による行政督促指導を行った。

受検指導にあたり、案内や電話による同一施設への度重なる受検勧奨を積極的に行ってきた結果、前年度比は343基増となった。

前年度未受検	検査実施数：	平成30年度（6,466基）	
		令和元年度（6,809基）	343基

※下の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含んでおります。

① センターからの受検指導文書通知後、電話アポインター（5名）や近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次のとおりである。（P.36）

<センター受検指導>

管 轄	平成30年度		令和元年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	122,623	2,831(2.3%)	84,265	1,725(2.0%)	▲1,106
南部総合県民局	13,352	367(2.7%)	13,067	277(2.1%)	▲90
東部保健福祉局(吉野川)	16,285	300(1.8%)	24,779	874(3.5%)	574
西部総合県民局	12,940	686(5.3%)	11,464	267(2.3%)	▲419
合 計	165,200	4,184(2.5%)	133,575	3,143(2.4%)	▲1,041

- ② センターからの受検指導後も未受検の施設については、各県民局長名による督促指導を行った後、再度電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次の通りである。(P. 36)

なお、今年度からは、過去に浄化槽法定検査実績のある無届浄化槽に対しても各県民局長名による督促指導を行った。

<行政からの文書指導（設置届出済浄化槽）>

管 轄	平成 30 年度		令和元年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	45,468	785(1.7%)	46,246	1,285(2.8%)	500
南部総合県民局	8,632	349(4.0%)	9,143	430(4.8%)	81
東部保健福祉局(吉野川)	7,050	212(3.0%)	6,567	170(2.6%)	▲42
西部総合県民局	6,060	256(4.2%)	6,278	302(4.8%)	46
合 計	67,210	1,602(2.4%)	68,234	2,187(3.2%)	585

<行政からの文書指導（無届浄化槽）>

管 轄	平成 30 年度		令和元年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	-	-	7,236	287(4.0%)	-
南部総合県民局	-	-	812	42(5.2%)	-
東部保健福祉局(吉野川)	-	-	1,724	48(2.8%)	-
西部総合県民局	-	-	1,353	66(4.9%)	-
合 計	-	-	11,125	443(4.0%)	-

- ③ センターからの受検指導通知・各県民局長名による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検指導の実績は次のとおりである。(P. 36)

未受検における連絡不通の対策として、過去の連絡履歴を分析し、受検勧奨の時間帯をずらせる等の措置を講じることにより、前年度と比較して検査申込数の増加となった。

(検査申込数 前期比 137件増)

<u>電話アポインターによる受検指導</u>	電話連絡総数	85,884件
【内訳】	申込済み	3,904件(4.5%)
	未検査	78,085件(91.0%)
	休止・廃止	3,895件(4.5%)

- ④ 那賀町らくらくあんしん協議会は、6月に第9回通常総会を開催し、前年度の実績報告・決算報告を行った。(P. 37)

令和元年度の維持管理一括契約は、新規契約数が16件(総合計930件)となっているが、新規契約に対して高齢化に伴う施設への入所や、契約者の死亡などにより契約解除の件数も増加しているため、加入件数はほぼ横ばいである。

また、協議会加入の単独浄化槽については、浄化槽管理士特別認定制度による認定管理士によって300件(うち1件解約済み)の法定検査(一次検査)が行われた。

<開催事業>

(6/17日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 第9回通常総会

浄化槽設置数（10人槽以下）：2, 0 2 8 基 維持管理一括契約数：9 3 0 基（45.9%）

那賀町らくらくあんしん協議会



第9回通常総会(6/17日)

⑤ 神山村きれいな水づくり推進協議会は、6月に第8回通常総会を開催し前年度の実績報告・決算報告を行った。(P.38)

また、処理場の投入料金値上げ及び消費税増税に対応するため、5月と8月に会議を行い、値上げをすることにより町民に負担をかけることのないよう神山村長に対し維持管理補助などの支援を要望した。

令和元年度の維持管理一括契約数は、新規約数が12件（総合計495件）となっている。

なお、神山村における協議会加入の単独浄化槽については、浄化槽管理士特別認定制度による認定管理士によって、200件の法定検査（一次検査）が実施された。

<開催事業>

(5/16日) 神山村きれいな水づくり推進協議会 会議

(6/07日) 神山村長に要望

(6/11日) 神山村きれいな水づくり推進協議会 第8回総会

(8/21日) 神山村きれいな水づくり推進協議会 会議

浄化槽設置数（10人槽以下）：1, 8 5 9 基 維持管理一括契約数：4 9 5 基（26.6%）

神山村きれいな水づくり協議会



第8回通常総会(6/11日)



神山村長に要望(6/7日)

後藤神山村長(右)

井内協議会会長(左)

3) 浄化槽管理士特別認定制度

認定管理士に対し、1年（優良認定管理士は2年）ごとの更新講習を各地域ごとに開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

7月19日 第1回浄化槽管理士特別認定更新講習会（東部地区）（受講者 6名）

9月20日 第2回浄化槽管理士特別認定更新講習会（東部地区）（受講者12名）

9月26日 第3回浄化槽管理士特別認定更新講習会（南部地区）（受講者 9名）

- 9月27日 第4回浄化槽管理士特別認定更新講習会（西部地区）（受講者12名）
- 11月15日 第5回浄化槽管理士特別認定更新講習会（受講者10名）
- 1月24日 第6回浄化槽管理士特別認定更新講習会（受講者12名）
- 2月14日 令和元年度浄化槽管理士特別認定制度新規講習会（受講者2名、更新1名）

行政を主体とした浄化槽管理士特別認定制度審査委員会では、現在までのスクリーニング試験やクロスチェックといった信頼性確保への取り組みに対して行ってきた結果について報告を行い、運用状況面での承認を受けた。また、制度の改正として、認定管理士による一次検査の対象を単独から合併浄化槽に拡大するための要件や規程等の見直しを行い、令和2年度下期から導入することとした。

- 12月05日 第12回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会
- 3月16日 第13回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

**【認定管理士・指定事業所（令和2年3月31日時点）】**

認定管理士 - 71名、 指定事業所 - 29社

**【認定管理士による一次検査実績（令和元年度）】**

749件（那賀町-300件、神山町-200件、その他-249件）



管理士特別認定更新講習会(9/27日)

管理士特別認定新規講習会(2/14日)

4) 一括契約協議会の推進

市町村単位に設立された一括契約協議会では、美馬市・つるぎ町・海部郡においては関係業者により契約が勧められ、僅かではあるが、実績が出てきた。

実績の無い市町村については、実運用に取り組めるよう、一括契約加入時の事務取扱や推進方法について協議していく。

- 7月30日 海部郡浄化槽一括契約協議会 通常総会（第5回）

**【設立済市町村】**

三好市、海部郡(3町)、美馬市・つるぎ町（合同）、小松島市、勝浦町、上勝町、那賀町、神山町

5) 継続検査制度の推進

平成28年度から制度を開始した、「継続検査申込」であるが、「継続検査申込」の手続きが完了した施設について、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査を実施している。

現時点では概ね良好に制度が推移しているが、一部で、転居して転売した施設や、契約

者が死去し、使用していない施設の検査が勝手に行われたとの苦情が寄せられるケースも出てきているため、可能な限り設置者と連絡を取り施設の状況を確認するよう対策を講じていきたい。

令和元年度末時点での「継続検査申込」の申込数は、21,930件にのぼっており、11条検査推進に効果を上げている。

## (2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

1) 令和元年度は4支所で新設浄化槽2,538基(うち24基は取下げ届提出)の設置届出書及び計画書を受け付け、昨年度と比較し、125基減となった。また、無届浄化槽は検査実施後の指導により71基の届出があった。

「浄化槽維持管理標準契約書」(以下「標準契約書」という)については、申請に併せて2,285基分(前年度比159基減)の契約書を受け付けた。

7,500千円(徳島県委託事業)

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.39~P.41のとおりである。

2) 郵便物の届かない浄化槽や新設浄化槽、建売物件の入居状況を2名の調査員と一部検査員によって再調査し、検査対象浄化槽のデータ整備を図った。

調査による現場確認数 3,772基

## (3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

1) 不適正浄化槽については、まず、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関(県水・環境課、県民局(福祉局)、土木、市町村)から文書による改善指導を行っている。令和元年度の関係行政機関からの改善指導はP.42のとおりである。

指導対象となる浄化槽16,205基(指導項目総数16,825項目)に対し、改善指導を行った結果、令和2年3月末までに、2,827項目の改善報告を受け付けた。

関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導件数	改善報告数	改善確認数
県水・環境課	保守点検業者	保守点検不備	7,724件	1,880(24.3%)	-
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	7,698件	738(9.6%)	-
土木事務所・特定行政庁	浄化槽管理者	破損等	524件	124(23.7%)	85(16.2%)
市町村	清掃業者	清掃不備	879件	85(9.7%)	-
合 計			16,825件	2,827(16.8%)	

※破損等(土木事務所指導分)の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っている。

改善報告率は年度末分途中のため低い数値であるが、最終的には20%程度の数値となると思われる。

2) 浄化槽技術検討委員会では、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明なものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査の実施を行っている。

実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

<浄化槽技術検討委員会の開催>

4/26、6/19、6/26、8/29、10/29、12/20、2/27

水質悪化原因	件数	二次検査内容
流入負荷量の偏りによる	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
生物膜の付着不良による	3件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
曝気攪拌の偏り及循環装置の稼働停止	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
循環装置の調整不良による	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
清掃時期の到達による	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
散気ディフューザーの目詰まりによる	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
定量移送装置の調整不良	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合計	10件	

3) (公財) 日本環境整備教育センターからの委託により、調査対象として選定された浄化槽が、全国浄化槽推進市町村協議会の浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に適合した浄化槽かどうかの現地調査を行った

#### (4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業 2,786千円(機能保証登録料)

令和元年度は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書1,072基(取下除く)を受付したが、徳島市の新設浄化槽設置補助の廃止の影響により昨年比△479基と大幅な減少となった。(P.43)

	30年度		令和元年度		前年度対比	
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ
書類申請	1,329基	51基	919基	16基	▲410基減	▲35基減
電子申請	282基	9基	177基	8基	▲105基減	▲1基減
合計	1,611基	60基	1,096基	24基	▲515基減	▲36基減

なお、令和元年度は機能保証制度利用申請の申立はなかった。

#### (5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業

1) 浄化槽に関する普及啓発事業として下記事業を行った。

<浄化槽月間 啓発事業>

県主催による浄化槽月間街頭啓発活動に参加し、パンフレットの配布やアンケートの実施を行った。

- 10月10日 阿南アピカ店
- 10月18日 フジグラン石井店
- 10月23日 マルナカ三加茂店
- 10月23日 フレスポ阿波池田



阿南アピカ店(10/10)



フジグラン石井店(10/18)



マルナカ三加茂店(10/23)



フレスポ阿波池田(10/23)

- ① 4支所窓口において、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ② インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。
- ③ 県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務については、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ④ 設置届けに添付が義務づけられた「標準契約書」については、50人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ⑤ 申請のあった浄化槽管理者に対し、7条及び11条検査の申込書、設置届出書（又は計画書）、標準契約書（50人槽以下）もしくは検査契約書・契約書（51人槽以上）の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行又は送付した。
- ⑥ 令和元年度の委託事業は次のとおりである。

なお、徳島市の委託事業は、今年度から新設浄化槽の設置補助が廃止されたことにより、実施件数が極端に減少した。（設置確認検査は前年度の引継ぎ施設の実績あり）

1, 590千円

市 町 村	事業内容	平成 30 年度	令和元年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	6 1 8 基	4 5 基	▲ 5 7 3 基
	設置確認検査業務	5 5 9 基	4 1 8 基	▲ 1 4 1 基
東みよし町	中間検査業務	—	2 0 基	—
	完了検査業務	—	1 5 基	—

#### (6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

- ① 新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳を送付した。（P. 44）

当初の計画では、合計40会場の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和2年2月末以降の開催分（4会場）を中止した。その結果、今年度の受講者数は、1,253名、受講率は55.4%と前年度比で17.8%減少している。

受講数減少の原因には、開催中止の影響に加えて、今年度から徳島市に於ける新設浄化槽の補助金が廃止されたため、浄化槽参加の実績報告（浄化槽教室受講証明証）提出の必要がなくなり、浄化槽教室の受講が軽視されたことが大きな要因の一つと判断する。

この教室は、浄化槽に関する知識を習得し、適正な維持管理に繋げるための研修機会として、非常に有効なものである。今回、徳島県浄化槽事務取扱要領の改正により、浄化槽教室の受講が義務化されたが、今後はその効果を検証していきたい。

	30年度	令和元年度	差 異
対 象 数	2,202基	2,263基	61基
開 催 回 数	40回	36回	▲ 4回
参 加 者 数	1,611名 (73.2%)	1,253名 (55.4%)	▲ 358名

また、浄化槽教室の開催中止により、補助金申請に必要な「浄化槽受講証明証」が発行できなくなったため、その代替として、市町村に「浄化槽教室受講誓約書」を提出することによって対応した。



②年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「浄化槽担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

- 日 程 : 令和元年9月4日  
 開催場所 : 公益社団法人 徳島県環境技術センター  
 出席人数 : 市町村行政関係者23名  
 内 容 :
- ・浄化槽関係法令の基礎と浄化槽法の一部改正について
  - ・7条検査の結果から見た工事の注意点及び不適正事例
  - ・情報提供①法定検査実施状況等について
  - ・情報提供②徳島県事務取扱要領の改正について



市町村浄化槽担当者説明会(9/4)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

- 1) 各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類についての調査を行い、その情報を取り纏めて一覧表を作成し、関係者に配布した。
- 2) 浄化槽に関する最新情報や浄化槽に関する各種データ等を載せた月刊機関誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の4支所にも備え置き、一般の方にも提供、同時にインターネットのホームページにも掲載した。
- 3) 浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している、「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

- 1) 徳島市の委託事業である、合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパンフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を勧めた。但し、毎年ほぼ同じ設置者に対し推進しており、効果の低下が懸念されるため、配布・説明対象とその方法・内容等について、市と再度協議を行いたい。

333千円(徳島市浄化槽転換促進事業)

転換推進啓発内容	平成30年度	令和元年度	前年度対比
パンフレット配布業務 合併への転換説明業務	6,798件 744件	5,956基 998基	▲842基 +254基
啓発数計	7,542件	6,954基	▲588基

<参考 徳島市設置事前検査における設置・転換状況>

	～24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	累計
設置	4,686	671	584	577	637	563	574	0	8,292
転換	601	73	64	68	51	50	44	45	1,025

転換啓発用パンフレット  
(徳島市)



2) センターは二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型大型浄化槽導入推進事業)の交付事業の受付窓口(徳島県)となっており、令和元年は20件の申請を受け付けた(詳細下記)。また、関係業者及び行政関係者を対象に事業の説明会を開催した。

<申請受付状況>

(TYPE1): 51人槽以上の既設合併処理浄化槽に付帯する機械設備等の改修・導入事業  
受付件数 19件

補助金申請額 12,141,000円

(TYPE2): 構造基準に基づき平成12年3月末まで設置された60人槽以上の合併処理浄化槽に係る本体交換事業

受付件数 1件

補助金申請額 20,561,000円

<各県団体への制度説明会>

4月 3日 省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業受付説明会(グランドヒル市ヶ谷)

<関係業者・行政担当者・施設管理者への推進説明会>

6月 5日 省エネ型浄化槽システム導入推進事業説明会(徳島)

6月 6日 省エネ型浄化槽システム導入推進事業説明会(阿北)

6月 7日 省エネ型浄化槽システム導入推進事業説明会(美馬)

6月10日 省エネ型浄化槽システム導入推進事業説明会(阿南)

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

① 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南で環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センター担当者は幹事として参画し、各種イベントの開催について協議を行ってきた。

【会議への参加】

6月 4日 みなみから届ける環づくり会議 第1回水質WG幹事会

6月21日 みなみから届ける環づくり会議 総会

7月23日 みなみから届ける環づくり会議 第2回水質WG幹事会

10月 3日 みなみから届ける環づくり会議 第3回水質WG会議

1月31日 みなみから届ける環づくり会議 第4回水質WG会議

【イベント】

10月27日 第17回阿南市こどもフェスティバル

※アサリによる汚水の浄化実験や紙すきを実施



② 学校教育において、環境学習に熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

また、学校以外に、各地域で取り組む環境保全活動において、講師として招かれ、水環境保全や浄化槽についての講演を行った。

(小学校－ 2 2回、高等学校－ 1回、地域住民－ 1回 計 2 4回)

【環境学習への取り組み】

6月 6日	吉野川市知恵島小学校	6月 10日	阿南市立横見小学校
6月 16日	美馬市立三島小学校	6月 21日	吉野川市立高越小学校
6月 25日	鳴門市立桑島小学校	6月 27日	三好市立池田小学校
7月 1日	吉野川市立飯尾敷地小学校	7月 2日	鳴門市立黒崎小学校
7月 4日	牟岐町立牟岐小学校	7月 18日	上板町立高志小学校
9月 5日	上板町立松島小学校	9月 13日	徳島市立沖洲小学校
9月 18日	徳島市立上八万小学校	9月 20日	徳島市立加茂名南小学校
9月 25日	阿波市立大俣小学校	9月 27日	美馬市立江原南小学校
10月 16日	美馬市立脇町小学校	10月 24日	徳島市立応神小学校
11月 1日	上板町立東光小学校	11月 5日	徳島市立南井上小学校
11月 27日	阿波市立伊沢小学校	12月 12日	徳島県立池田高等学校
12月 19日	美馬市立江原北小学校	2月 21日	生活排水対策実施活動講座



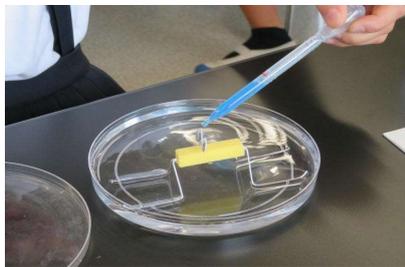
知恵島小学校(6/6)



横見小学校(6/10)



三島小学校(6/16)



高越小学校(6/21)



桑島小学校(6/25)



池田小学校(6/27)



飯尾敷地小学校(7/1)



黒崎小学校(7/2)



牟岐小学校(7/4)



高志小学校(7/18)



松島小学校(9/5)



沖洲小学校(9/13)



上八万小学校 (9/18)



加茂名南小学校 (9/20)



大俣小学校 (9/25)



江原南小学校 (9/27)



脇町小学校 (10/16)



応神小学校 (10/24)



東光小学校 (11/1)



南井上小学 (11/5)



伊沢小学校 (11/27)



江原北小学校 (12/19)



池田高等学校 (12/12)



生活排水対策実施活動講座 (2/21)

③ 「浄化槽の日」ポスターコンクールの開催

未来を担うこどもたちに、水の大切さを知ってもらうため夏休み課題のポスターを募集した。今年度は111作品の応募があり、9月に優秀作品を選考し、11月26日には徳島県知事による表彰状の授与式を行った。

尚、優秀作品については、県庁および東部保健福祉局などで一般公開したほか、令和2年度のカレンダーに活用し、小中学校に配布した。

- 7月～8月末 県内小中等学校へ作品の募集
- 9月 応募締切 (111作品)
- 9月19日 応募作品審査会 (応募111点 最優秀- 2点、優秀- 6点、佳作-20点)
- 11月26日 徳島県知事室にて最優秀作品表彰式
- 12月～3月 徳島県庁、東部保健福祉局 (徳島保健所)、徳島県総合教育センターにて優秀作品の展示

令和元年度「浄化槽の日」ポスターコンクール



(小学校の部最優秀作品) (中学校の部最優秀作品) 表彰式で知事と記念撮影

④ 「水すまし隊」による活動

県内の子どもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の重要性を知ってもらうため、センターの若手職員が中心となって、様々なイベントを企画し、幅広い啓発ができた。また、ホームページのブログでは、水すまし隊の活動報告や個々のメンバーからの報告を掲載した。

さらに、夏休みには、鳴門市の網干海岸にて海洋生物調査を行い、海辺の生き物と触れ合った。

- 4月 7日 津田地区「六右衛門祭り」  
地域の活性化に貢献するため、出店（金魚すくい）を出店し、センターの活動をPRした。
- 6月 9日 あすたむらんど「環境月間特別エコ工作」  
「ビニール袋で作るコサージュ」と題し、ビニール袋を使用したオリジナルのコサージュ作りを行った。遊びを通じて親子でプラスチックゴミの削減など環境について考え、当センターの活動をPRした。
- 8月 1日 あすたむらんど「水の日イベント～竹のてっぽうで花に水やりを～」  
手作りの竹の水鉄砲やペットボトルじょうろを用いて、ため池の水を花壇に散水し、水の循環について学んでもらった。
- 8月 3日 海岸生物調査「夏休みこども科学実験教室」  
徳島県県民環境部環境管理課の委託事業として海洋生物調査を受託し、鳴門市網干海岸で海洋生物の生態調査を行った。
- 8月 27日 プラごみフォーラム  
「とくしま SATOUMI フレンドシップ団体」として、水質チェック体験コーナーにて COD パックテストを使った水質検査を実施した。
- 9月 7日 エコみらいとくしまイベント「段ボールでフォトフレーム作り」  
限りある資源を大切にすることを目的とし、段ボールを使用しフォトフレームを作成した。
- 11月 2、3日 サイエンスフェア2019「おもしろ博士の実験室」  
「プラごみ問題」をテーマにしたエコ工作で、プラスチックストローを捨てずにキーホルダーやオーナメントを作った。
- 12月 21日 エコみらいとくしま 12月イベント  
サイエンスフェアと同様に、「プラごみ問題」をテーマにしたエコ工作で、プラスチックストローを捨てずにキーホルダーやオーナメントを作った。



津田地区「六右衛門祭り」(4/7)



あすたむらんど「特別エコ工作」(6/9)



あすたむらんど「水の日イベント」(8/1)



海岸生物調査(8/3)



プラごみフォーラム(8/27)



エコみらいとくしまイベント(9/7)



サイエンスフェア2019(11/2-3)



エコみらいとくしま 12月イベント(12/21)

### ⑤ 清掃活動

5月30日に「ゴミゼロの日」にちなみ、センター周辺の清掃活動を行った。また、9月18日に徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園の除草や清掃を実施し、地域の美しい憩いの場を確保した。



ゴミゼロの日清掃活動(5/30)



パークアドプト清掃活動(9/18)

⑥ 「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

5月13日 金磯海岸水質検査の実施

センターの協賛事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。

6月8日 「リフレッシュ瀬戸内」清掃ボランティア活動の参加

役職員合わせて約60名が参加し、横須・金磯海岸の清掃奉仕活動を行うとともに、参加者にセンターオリジナルのうちわを配布し、浄化槽の適正な維持管理の啓発を行った。



金磯海岸水質検査(5/13)



リフレッシュ瀬戸内清掃活動(6/8)

⑦ CSR活動報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <https://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

①職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。

5月30日 徳島職業能力開発促進センター「ビジネス文書作成術」

6月14日 日本環境整備教育センター実務セミナー

「生物相からみた処理機能診断と運転管理技術」

6月21日 徳島職業能力開発促進センター「効率よく分析するためのデータ集計」

6月26日~27日

NECマネジメントパートナー「Visual StudioによるWebアプリケーションプログラム」

9月17日 低圧電気取扱者安全衛生特別教育 12名

(講師：四国電気保安協会 徳島支部)

11月13日 RICOH Value Presentation 2019

11月29日 低圧電気取扱者安全衛生特別教育 15名

(講師：四国電気保安協会 徳島支部)

12月2日 ACT フェロシップ第2回特別講演会

「鶴岡高専におけるグローバル人材育成の取り組みと将来展望」

センターでは、プライバシーマーク認定により、作成した個人情報保護マネジメントシステムに基づいた体制で業務を行い、月1回のEラーニングによる社員教育の実施等によって、その精度を上げている。2月には年に1回の内部監査を行い、運用状況の確認と見直しを行った。

2月28日 個人情報保護マネジメントシステム内部監査



また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。

4月25日、7月30日、10月31日、1月28日  
エコアクション21推進会議  
11月21日 エコアクション21中間審査



## ②開催・出席した主な会議等

<全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会>

- 4月24日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会に参加した。(香川)
- 6月26日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会会議に参加した。(品川)
- 9月19日～20日 検査機関四国地区協議会検査員研修会に参加した。(高知)
- 11月2日 第12回浄化槽法指定検査機関四国地区協議会ソフトボール大会(香川)
- 11月15日 九州地区浄化槽検査員研修会に参加した。(大分)

※2月25日の「全浄連・指定検査機関四国地区協議会合同事務局長会議」は感染症拡大予防のため開催が中止となりました。



全浄連・検査機関四国協議会総会(4/24)



四国地区協議会検査員研修会(9/19-20)



ソフトボール大会(11/2)



九州地区検査員研修会(11/15)

## 【収益事業1】

### 2 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 33,851千円(計量証明手数料)

①濃度計量証明事業として、主に特定事業場排水の分析を実施した。

令和元年度の証明件数は2,692件で売上は33,851千円であった。

公共関係に於ける入札の落札が増減の要因であるが、今後も従前からの顧客へのサービスに努めるとともに、流動的ではあるが、入札等にも積極的に参加して業務確保を図っていきたい。(前年度比 件数:43件減:636千円減) (P.45)

(2) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

内部研修として、当センターにて計量証明事業規定細則に基づく研修を実施した。

<内部研修>

11月29日 計量証明事業規定細則10.3に基づく研修

また、外部機関が開催する下記研修に参加し、能力・知識の向上に努めた。

<研修会等の参加状況>

6月21日 令和元年度徳島県計量協会通常総会

11月27日 高圧ガス消費者保安講習会

1月30日 計量証明事業者クロスチェック事業結果検討会

2月6日 令和元年度徳島県計量協会講演会

2月14日 2019年度山口県環境計量証明事業協会研修会

<外部に対する研修>

7月31日 インターンシップ受け入れ(城北高校生)

8月20日 インターンシップ受け入れ(県・水環境課)

8月19日～8月30日 インターンシップ受け入れ(高知大学生・徳島大学生)

## 【収益事業2】

### 3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

1) 講習会・研修会の開催

①センター主催による浄化槽技術者講習会の開催

事業所の社員を対象に、高い技術力を持った資格者を育てるための講習会を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催を中止した。

(中止した講習会)

日 程 : 令和2年3月6日(金)

開催場所 : アスティとくしま

内 容 : 保守点検技術講習会

①浄化槽維持管理のポイントについて

・ダイキアクシスXH型

・ハウステックKRS型

②情報提供(浄化槽法・登録条例等の改正について)

講師: 徳島県県土整備部 水・環境課

②会員従業員の資格取得の支援

会員従業員に高い知識や技能、技術力を身につけてもらうための講習会や、資格取得に関する試験対策講座を開催した。

6月7日(金)～8日(土)

浄化槽設備士試験 受験対策講座

(講師：㈱ハウステック)

11月9日(土)

徳島県浄化槽管理士会主催 浄化槽維持管理技術講習会

「クボタ浄化槽の構造と保守点検・清掃の実務について」

(講師：クボタ浄化槽システム㈱)

11月16日(土)

徳島県浄化槽設備士会主催 浄化槽工事技術講習会

○「浄化槽の転換へのススメ」

(講師：(一社)浄化槽システム協会)

○「自分の中にあるイライラと上手に付き合う方法」

(講師：アンガーマネジメント 浪越あゆみ氏)



浄化槽設備士試験対策講座  
(6/7～6/8)



浄化槽維持管理技術講習会  
(11/9)



浄化槽工事技術講習会  
(11/16)

### ③浄化槽設備士特別認定講習の開催

浄化槽設備士を対象に、技術の向上を目的とした特別認定講習を行い、認定を受けた設備士には顔写真入りの特別認定証を発行した(4事業所6名)。

また、既に認定登録している特別認定設備士は本年度で5年目となるため、その更新のための講習会を実施した。

6月26日 浄化槽設備士特別認定講習会(新規)

①浄化槽設備士特別認定制度の概要

②7条検査の結果から見た浄化槽工事の注意点

③人員算定基準について～基礎と実例～

10月2日 浄化槽設備士特別認定更新講習会(西部会場)

10月16日 浄化槽設備士特別認定更新講習会(徳島会場)

10月23日 浄化槽設備士特別認定更新講習会(徳島会場)

10月30日 浄化槽設備士特別認定更新講習会(南部会場)

## (2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 昨年度に引き続き保証登録申請の電子申請を行った。

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) 令和元年度のプレキャストコンクリート底板（PC底板）の売上は10,137千円であった。（昨年度比 +202千円）

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で検品を行っている。

10,137千円(底板販売収入)

PC底板製品検査 4月3日、5月15日、6月18日、7月12日、8月2日、  
9月6日、10月18日、11月20日、12月18日、  
2月5日、3月19日

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽（1枚もの）	395枚	6,058千円
5人槽（2分割）	8枚	164千円
7人槽（1枚もの）	164枚	3,343千円
7人槽（2分割）	15枚	364千円
ブロー台	77台	120千円
アイボルト	12本	19千円

### (3) その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量	金額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	2,969部	593千円
	標準契約書	2,414部	482千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	84部	16千円
	標準保守点検記録票	1,793部	1,027千円
	標準清掃記録票	292部	154千円
	構造審査申請書	14部	14千円
	工事業・特例工事業申請書	4部	2千円
	保守点検登録申請書	12部	6千円
	浄化槽処理対象人員・汚水算定要領	6部	6千円
	その他	—	11千円
機器販売	鍵付万能フック（30cm）	1,110本	1,442千円
	鍵付万能フック（44cm）	771本	1,222千円
	その他	—	262千円

## 【その他の事業】

### 4 管理部門（法人）

#### (1) 法人運営に関する事業

##### 1) 監査・総会の開催

###### 【会計・業務監査】

4月25日

平成30年度の会計監査・業務監査を行った。

10月25日

令和元年度上半期の会計監査・業務監査を行った。

###### 【定時社員総会】

5月27日

第9回定時社員総会を開催し、平成30年度の事業報告・決算報告、辞任に伴う

う理事（1名）の選出等を行った。

## 2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。

・常任理事会（12回）、理事会（8回）



会計及び業務監査(4/25)



第9回定時社員総会(5/27)



第1回理事会(5/8)



第6回理事会(1/21)

## 3) センター所属部会の開催

各業界の課題解決を目的として、センター所属部会を開催した。

「施工」、「保守点検」、「清掃」、「メーカー」の会議では、それぞれの業界が抱えている問題や、これまで解決に至っていない課題等について協議した。

なお、協議がまとまった保守点検、清掃部会は、協議結果を理事会に報告し、県に対し要望が必要なものについては、徳島県県土整備部長に対し要望を行った。

<施工部会会議 協議内容> 8月5日、9月25日開催

- 設置届出書の様式について
- 施工マニュアルの修正について
- その他について

<メーカー部会会議 協議内容> 8月6日、9月24日開催

- 設置届出書の様式修正について
- 施工マニュアルの修正について
- その他について

<施工・メーカー合同部会会議> 11月13日、1月15日

施工部会・メーカー部会では共通の課題をそれぞれで協議してきたが、意見が異なる点があったため、部会担当理事による合同部会の開催によって、課題解決に向けた方向性を確認した。

<保守点検部会会議 協議内容> 8月7日、9月27日、12月10日開催

- 中央環境センターに対する処分について
- 保守点検の登録について（管理士営業区域の選任について）
- 保守点検の登録について（名義貸しの取り扱いについて）
- 保守点検の登録について（備えるべき器具）
- その他について

<清掃部会会議 協議内容> 8月7日・9月27日、12月10日開催

- 年1回の清掃が未実施の場合の法定検査結果の取り扱いについて
- 保守点検業者による清掃の再委託について
- その他について（清掃業者の研修機会について）



施工部会会議(9/25)



保守点検部会会議(8/7)



清掃部会会議(12/10)



メーカー部会会議(8/6)

<県への要望について>

4月9日 県水環境課に対し、直面する諸問題について要望書を提出した。

- ①設置届出書の受付に係る下請け業者の取り扱いについて
- ②徳島県浄化槽施工マニュアルの徹底について
- ③浄化槽法を遵守しない維持管理業者への対処について

1月21日 保守点検、清掃部会で協議した内容の課題解決のため、県土整備部長に対して要望書を提出した。

- ①浄化槽保守点検業者の登録等に係る適正化について
- ②浄化槽法定検査の判定の厳格化について
- ③浄化槽の維持管理業務に係る発注の適正化について

4) 全浄連関係会議

- 4月24日 全浄連第1回事業・組織広報委員会に参加した（テレビ会議）
- 4月24日 全浄連四国地区協議会総会・法指定検査機関四国地区協議会総会に出席した。（香川 高松国際ホテル）
- 5月22日 全浄連第26回理事会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
- 6月26日 全浄連第7回定時総会、第27回理事会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

- 9月13日 全浄連第28回理事会に出席した。(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 10月1日 第33回全国浄化槽大会に出席した。(ホテルグランドパレス)
- 2月12日 全浄連第2回事業・組織広報委員会に参加した(テレビ会議)
- 3月19日 全浄連第29回理事会に参加した(テレビ会議)

(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止)

2月25～26日 全浄化槽連事務局長会議

#### 5) 改正浄化槽法推進検討特別委員会WG

2019年の浄化槽法の改正により、特定既存単独処理浄化槽に対する措置・公共浄化槽・使用休止及び義務の免除・台帳整備・協議会など新たな仕組みが法制度として創設されたが、その細部についてまだ定められていない。そこで、全浄連が改正浄化槽法の細部を全国の浄化槽団体と協議するための場を設けるため環境省をオブザーバーとした特別委員会を発足した。その委員として当センターの西岡(調査研究課長)が推薦されたため、委嘱を受け委員会に出席した。

- 7月5日 第1回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(全浄連会議室)
- 7月12日 第2回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(テレビ会議)
- 7月23日 第3回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(全浄連会議室)
- 8月22日 第4回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(全浄連会議室)
- 9月24日 第5回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(テレビ会議)
- 10月15日 第6回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(全浄連会議室)
- 11月6日 第7回改正浄化槽法推進検討特別委員会WG(全浄連会議室)

## (2) 会員関係

令和元年度は1社の入会申請があった。また、2社が退会した。

<会員の入・退会状況>

令和2年3月31日現在

地区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備考
徳島	59社	1社	0社	60社	
鳴門	10社	0社	0社	10社	
小松島	12社	0社	0社	12社	
阿南	18社	0社	0社	18社	
海部	7社	0社	0社	7社	
阿北	8社	0社	0社	8社	
美馬	11社	0社	0社	11社	
三好	24社	0社	1社	23社	
メーカー	13社	0社	1社	12社	
合計	162社	1社	2社	161社	

<入会会員> 1社

地区	会員名	代表者	入会日	部会
徳島	(有)橋本住設	橋本英和	R02. 2.12	施工

<退会会員> 2社

地 区	会 員 名	代 表 者	退 会 日	部 会
メーカー	飯島電子工業(株)	福嶋 康雄	R02. 2. 28	メーカー
三 好	中西設備工業	中西 俊光	R02. 3. 31	施 工

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	28社(1)	23社(1)	12社(1)	63社(3)
	鳴 門	8社	2社	0社	10社
	小 松 島	8社	1社	3社	12社
	阿 北	3社	0社	5社	8社
南 部	阿 南	15社	3社(2)	2社	20社(2)
	海 部	3社	3社	1社	7社
西 部	美 馬	8社	1社	2社	11社
	三 好	17社	5社	1社	23社
メーカー					12社
合 計		90社(1)	38社(3)	26社(1)	166社(5)

※複数部会所属会員はそれぞれ部会毎に1社として計算している。  
カッコ内の数字は複数部会に所属する会員数

(3) その他

1) 許認可に関する事項

- 1) 徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定(昭和62年3月27日)
- 2) 計量証明事業登録(平成12年12月14日 第74号)
- 3) 建築物飲料水水質検査事業(令和2年2月19日 徳島県東保02水 第1号)

2) 変更認定申請書

6/26日 役員変更に伴う変更届出書を提出

3) 役員等に関する事項

(令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	吉村 正	非常勤	(有)吉村建材店 代表取締役
副 会 長	高橋 一巳	非常勤	トーヨー化工(株) 代表取締役
専務理事	柰保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	田原 典郎	非常勤	(株)三好浄化槽ネットワーク 代表取締役
理 事	井内 幸一	非常勤	(有)井内清掃 代表取締役
〃	田村 茂人	非常勤	豊栄設備工業(株) 代表取締役
〃	森 玄德	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
〃	眞貝 浩司	非常勤	(有)真和 代表取締役
〃	日下 貴博	非常勤	日徳三善電機(有) 代表取締役
〃	久積 修次	非常勤	(株)ウォーターサポート久積 代表取締役
〃	石村 純洋	非常勤	フジクリーン工業(株)高松営業所 所長
〃	久米 正浩	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局次長
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

## 4) 職員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

職 員 数		入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	50名	2名	2名	42.3才	14.3年
女性	24名	1名	1名	40.7才	12.9年
合計又は平均	74名	3名	3名	41.8才	12.6年

## 5) 法令遵守に関する事項

## ①交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入しているが、未だ不注意による事故を根絶できていない。そこで、一定以上の事故を起こした職員には教習所での安全運転講習の受講を義務づけ、対象者6名に受講させた。

事 故 内 容		01年度	30年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	10件	11件	▲1
	任意保険適用事故	2件	3件	▲1
人 身 事 故		1件	0件	+1
合 計		13件	14件	▲1

## ②個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故  
なし

## ③労務管理上の事故

安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（2件：出窓で頭部負傷 他）  
（前年度： 2件）

## 5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。